

調布市地域包括支援センターちょうふの里 みまもっと便り



令和7年8月発行

第1回地域ケア会議開催しました！

7月17日にNPO法人プラスアーツ 長 夕紀菜氏による『～地震への備えは“モシモ”ではなく“イツモ”。～地震ITSUMO講座』を拝聴し、自身や地域で取り組むべき備えについて情報を共有しました。地震大国の日本では、いつ地震による大災害が発生してもおかしくありません。建物・道路・橋などの倒壊・崩壊はもとより、交通機関や電気・水道・ガス・通信機器などのライフラインがストップしたり、食料・生活用品が不足するなど、大混乱が生じます。日頃より地震に備えた対策を地域で取り組む重要性について学びました。



自宅避難生活に役立つ防災グッズ

水 非常食 カセットコンロ・ボンベ
クーラーボックス ポリ袋 ラップ
新聞紙 携帯トイレ LED ランタン
携帯ラジオ からだふきウェットタオル
口腔ケア用ウェットティッシュ

その他、薬、オムツ等、
ご自身に必要な物のご準備を！

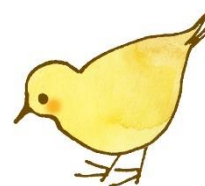
新入職員紹介です♪

みまもっと担当



百田 かなな
(社会福祉士)

7月1日に入職しました。地域包括支援センターの相談員としては5年目です。フットワークが軽いことが取り柄です。積極的に皆様のご相談に乗りながら、より住みやすいまちづくりに貢献していきたいと思えます。街で見かけたら、ぜひお声かけください！



利用者アンケート 実施中

下記のQRコードを読み取ると
アンケート画面が表示されます



調布市認知症サポート月間 始まります！

9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、調布市では9月を「調布市認知症サポート月間」とし、認知症についての理解を深めるイベントを設けています。長く生きることができるとは幸せなことですが、老いを重ねれば、もの忘れが増えたり、理解するのに時間がかかったり…。認知機能の衰えは誰にでも起こりうることです。認知症であっても暮らしやすい地域とはどのような地域でしょう？ 認知症について正しい知識を学び、「認知症にやさしいまちづくり」を目指して、ご自身にできることを考えてみませんか？ イベント情報は地域包括支援センターに配架しています。

オレンジガーデニングプロジェクト



～ソフトな見守り ゆるやかな働きかけ～

調布市見守りネットワーク事業みまもっと

「調布市地域包括支援センター」は調布市役所からの委託を受け、高齢者やそのご家族の相談・支援・調整を行い、住民の皆様と共に暮らしやすい地域を目指す機関です。調布市では、高齢者や支援が必要な方が、地域で安心して暮らしていくために、見守りネットワーク事業(通称 みまもっと)を推進しています。心と体が弱っている時には声を上げにくいものです。皆様のお近くにお住まいの高齢者について、気がかりなことがありましたら、ご相談ください。

担当地域

富士見町1丁目、2丁目1～10、13～23、3～4丁目

野水、西町、上石原、飛田給

下石原1丁目1～9、36～51、2丁目1～38、3丁目1～17、28～50



連絡先

調布市地域包括支援センターちょうふの里

住所:調布市西町 290-5 電話:042-441-6655

調布市地域包括支援センターちょうふの里サブセンター

住所:調布市上石原 2-11-3 1階 電話:042-444-5151

